

高校生、保護者、進路指導担当者必読

特別編集 日経 CAREER MAGAZINE

価値ある大学

就職力ランキング 2024-2025

甲南大学 特別編

企業が欲しがる
人材を輩出する

日経
独自調査

大 学

★大学の取り組みランキング

就職支援に熱心に取り組む大学

(近畿) 5位

全国 15位

特別企画 次世代を創る大学

甲南大学が進める「進化型理系構想」とは



就職力 ランキング 2024-2025

就職力ランキングは、企業の人事担当者が採用した社員から得た印象を基に、出身大学を評価した結果から作成しています。ランキング上位の大学ほど、企業で活躍する人材を輩出しているといえます。総合ランキング、側面別ランキング、地域別ランキングを紹介します。

調査内容・集計方法

全上場企業と一部有力未上場企業を対象に、過去2年間（2022年4月～2024年3月）の新卒採用において、正社員として採用・入社した実績のある大学を人数の多い順に10大学まで挙げてもらった。挙げた大学について、2年間の入社人数と、各大学の「学生のイメージ」（12項目）、および「大学の取り組みへのイメージ」（7項目）に関して、あてはまるかどうかを6段階評価（※1）で聞いた。

※1 非常にあてはまる／あてはまる／ややあてはまる／あまりあてはまらない／あてはまらない／まったくあてはまらない
集計時、6段階評価にそれぞれ10点、8点、6点、4点、2点、0点を付与。

今回調査（2024年実施）における大学名の回答と、昨年調査（2023年実施）における大学名の回答を合算して集計した。その際の処理として、今回調査と昨年調査の回答のうち、「同一企業」かつ「同一大学」の回答を重複扱いとし、昨年調査の回答を除外した。

▶各項目の得点の算出方法

有効回答のうち、項目ごとに獲得した点数に対して、2年間の入社人数を重みとした加重平均値を「得点」とした。

▶各側面別得点の算出方法（側面別ランキング）

各側面に該当する3項目（※2）を合算し、項目数（3）で割った平均値を「得点」とした。項目による重み付けは行っていない。

※2 側面①～④に対応する「学生のイメージ」項目は以下の通り。

- ①行動力：熱意がある／主体性がある／チャレンジ精神がある
- ②対人力：コミュニケーション能力が高い／ストレス耐性が高い／柔軟性、適応力がある
- ③知力・学力：論理的思考ができる／高い教養を身に付けている／理解力がすぐれている（地頭がよい）
- ④独創性：創造力がある／個性がある／着眼点が良い

▶総合ランキング総合得点の算出方法

「学生のイメージ」についての側面別得点を単純合算した。側面による重み付けは行っていない。

▶大学の取り組みランキングの集計方法

「大学の取り組みへのイメージ」（※）に関して、項目ごとに獲得した点数に対して、2年間の入社人数を重みとした加重平均値を「得点」とした。総合ランキングは項目別得点を単純合算した。

※大学の取り組みへのイメージ項目 授業の質の向上に熱心に取り組んでいる大学／外国人留学生の教育・就職支援に力を入れている大学／施設や立地などの学習環境が整っている大学／日本人学生のグローバル教育に取り組んでいる大学／すぐれた研究を行っている大学／就職支援に熱心に取り組んでいる大学／地域の活性化に貢献している大学

▶ランキングの対象

調査対象企業から名前が挙がった件数を大学ごとに合計し、その件数が一定水準以上に達した大学を対象とした。側面別ランキングは上位25位を掲載。

※得点は小数点以下2桁表示（四捨五入）。

調査概要

- ▶調査名 ……企業の人事担当者から見た大学イメージ調査
- ▶調査期間 ……2024年2月27日（火）～3月29日（金）
- ▶調査対象 ……2024年2月現在の全上場企業（新興市場含む、外国会社は除く）と一部有力未上場企業
- ▶調査対象社数 ……5141社
- ▶回答社数 ……714社（回答率13.9%）
- ▶調査主体 ……日本経済新聞社と日経HR
- ▶調査協力 ……日経リサーチ

大学の取り組みランキング

すぐれた研究に取り組む大学ランキング

順位	分類	大学名	得点
1位	国	京都大学	8.99
2位	国	筑波大学	8.75
3位	国	東京工業大学	8.54
4位	国	神戸大学	8.42
5位	国	大阪大学	8.35
6位	国	東京大学	8.33
7位	国	千葉大学	8.28
8位	国	東北大学	8.27
9位	国	北海道大学	8.25
10位	国	九州大学	8.18
11位	私	東京農業大学	8.10
12位	私	芝浦工業大学	8.06
12位	国	名古屋大学	8.06
14位	国	金沢大学	8.03
15位	私	東京理科大学	7.94
16位	公	大阪公立大学	7.90
17位	私	金沢工業大学	7.78
18位	国	信州大学	7.77
18位	国	岡山大学	7.77
20位	私	近畿大学	7.73
21位	私	慶應義塾大学	7.70
21位	私	大阪工業大学	7.70
23位	私	早稲田大学	7.67
24位	国	愛媛大学	7.65
25位	私	名城大学	7.62
25位	国	広島大学	7.62

「すぐれた研究」は国立大学 「就職支援」は私立大学

すぐれた研究に取り組んでいるとされたのは、京都大学、筑波大学、東京工業大学が上位3校。トップ10はすべて国立大学でした。京都大学は生命科学や脱炭素など最先端分野での研究の充実度を評価する企業が目立ちました。筑波大

学や東京工業大学は基礎研究の充実や著名な研究者を輩出している点が評価されています。

就職支援に熱心な大学は1位金沢工業大学、2位愛知工業大学、3位愛知大学。上位25校のうち24校が私立大学でした。金沢工業大学のキャリアセンターの充実した支援体制は、企業の人事担当者からも一目置かれているようです。

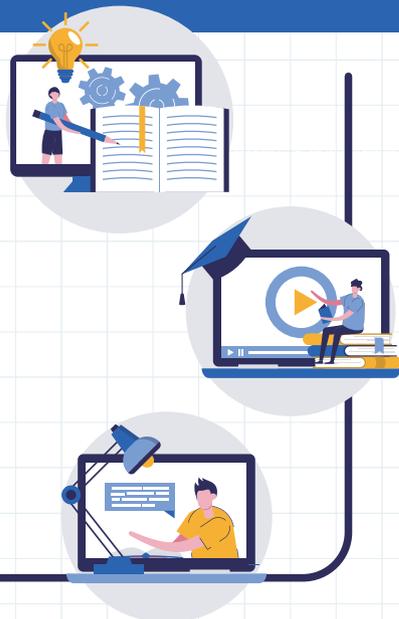
就職支援に熱心に取り組む大学ランキング

順位	分類	大学名	得点
1位	私	金沢工業大学	8.53
2位	私	愛知工業大学	8.41
3位	私	愛知大学	8.34
4位	私	大阪経済大学	8.29
5位	私	芝浦工業大学	8.28
6位	私	摂南大学	8.13
7位	私	千葉工業大学	8.06
8位	私	大阪工業大学	8.05
9位	私	東京農業大学	7.95
10位	私	名城大学	7.93
11位	私	中京大学	7.90
12位	私	関東学院大学	7.88
13位	私	近畿大学	7.83
14位	国	東北大学	7.80
15位	私	甲南大学	7.77
15位	私	中部大学	7.77
17位	私	帝京大学	7.76
18位	私	明治学院大学	7.71
19位	私	東京電機大学	7.70
20位	私	日本大学	7.69
21位	私	南山大学	7.65
22位	私	京都産業大学	7.64
23位	私	明治大学	7.61
24位	私	立命館大学	7.60
25位	私	関西大学	7.59

近畿
5位

愛知工業大学と愛知大学は、学内企業説明会の回数と参加学生の多さが評価されました。5位芝浦工業大学、7位千葉工業大学、8位大阪工業大学、9位東京農業大学など理工系大学の多さも目立ちます。研究室での教育が結実しているといえるでしょう。国立で唯一入った14位東北大学は、企業と研究室の結び付きが評価されました。

社会、企業が求める人材 キーワードは「価値創出」 「デジタル・グリーン」



社会や企業が求める人材は、その時代の環境に合わせて変わっています。
少子高齢化による人手不足に直面する
日本社会と課題克服に向けた人材育成について紹介します。

少子高齢化社会で活躍する 人材の育成に挑む大学

2040年には 約1100万人分の労働力不足

日本の総人口（外国人含む）は2024年1月1日時点で前年同月比66万人減の1億2409万人と減り続けています。一方、65歳以上の高齢者の占める割合は29.2%と過去最高です。働き手となる若者が減り、支えなければならぬ高齢者が増えているのが今の日本。リクルートワークス研究所は、30年に約341万人分、40年に約1100万人分の労働力が不足すると予測しています。

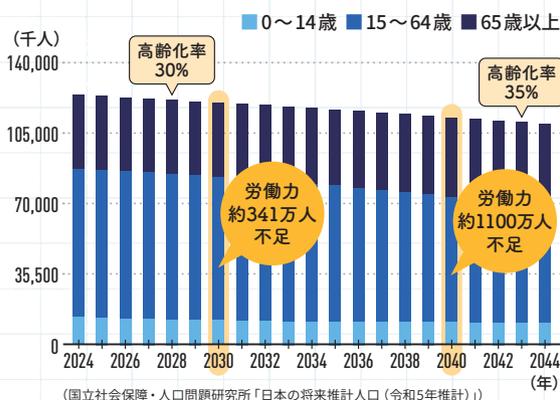
少ない働き手で多くの高齢者を支え、社会システムを維持することが日本社会の課題なのです。これからはIT技術や人工知能（AI）、ロボットなどを活用して省力化を進めな

ればなりません。また、高齢者や女性の就業を推進する必要もあるでしょう。

従業員は価値を生み出す資本

人手不足を克服するために、単純作業はロボットやAIが担い、従業員は専門的な知識や技術を使ったより高度な仕事をするのが求められるようになってきました。こうした働き方の変化と同時に、企業は従業員に対する考え方を変え始めました。企業は従来、従業員を人件費のかかるコストとして捉えてきましたが、ここ数年で「従業員（人）は価値を生み出す資本である」という「人的資本」の考

日本の将来推計人口

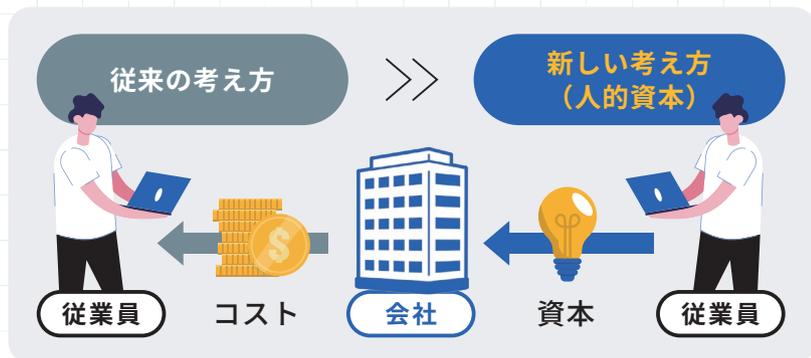


え方に転換。新たな価値を創出する従業員こそが、企業の成長には欠かせないことに気づいたのです。

今後、働く人々は目まぐるしく進歩する技術に合わせて、日々知識やスキルの更新が求められます。学ぶことは大学で終わりではなく、働き始めてからも学び続けなければなりません。現在、国が推進する「リスキリング（学び直し）」も、働く人たちが長く活躍し続けるために必要なことだといえます。

これから活躍できる人材

こうした社会や企業の要請に応えるべく、国は21年に「我が国の未来を担う人材の育成の在り方について」を考える「教育未来創造会議」を立ち上げ、22年5月に第一次提言を公表し、23年4月に第二次提言を取り



まとめました。第一次提言では、デジタルとグリーン（脱炭素や食料）などを成長分野とし、これをけん引する人材育成の方向性を示しました。第二次提言では、コロナ禍後のグローバル社会の正常化に向け、世界で活躍する日本人の若者を増やすとともに、世界の高度外国人材を日本

に受け入れることを挙げました。

大学に期待される人材育成

社会や企業の要請に応える、教育未来創造会議による2つの提言を受け、大学は今、次世代を創る人材を育てる教育改革を強力に推し進めています。教育改革によって育てよう

としているのが、価値を創出できる人材、デジタルとグリーンを中心にした成長分野を支える人材です。

これらの人材を育成するために、どのような教育改革が進んでいるのか、「価値創出」「デジタル・グリーン」の2つのキーワードから解説します。

社会の要請に応える教育改革

Keyword 1 価値創出

理数+芸術=STEAM教育

大学で様々な専門知識・能力を身に付けた人材が社会に出て、新たな価値を創出して社会課題を解決する——。価値創出人材の育成で期待されているのがSTEAM教育の導入、文理融合学部の新設です。

STEAM教育とは、Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学）、Art（芸術・リベラルアーツ）、Mathematics（数学）の5つの単語の頭文字を組み合わせた教育概念です。先の見通せないVUCA（ブーカ=変動性、不確実性、複雑性、曖昧性）の時代には、文系、理系という枠にとらわれることなく、社会に存在する課題を見つけ、解決する力の育成が期待されています。これが先に紹介した「人的資本」経営に求められているのです。

文理融合と多様性確保

文理融合学部に関しては東京大学が24年2月、27年に5年制の文理融合学部を新設すると発表し話題になりました。文理融合学部は、国立では九州大学の共創学部、広島大学の

総合科学部、一橋大学のソーシャル・データサイエンス学部など。私立ではリベラルアーツ教育で知られる国際基督教大学（ICU）が古くから有名ですが、他の大学でも「データサイエンス」「共創」「環境」などを冠した学部の新設が相次いでいます。

さらに、価値創出には多様性が欠かせないといった観点から、理工農系学部で女子学生を増やす動きが進んでいます。22年には奈良女子大学が工学部を、24年にはお茶の水女子大学が共創工学部を新設しました。女子大だけでなく、名古屋大学や富山大学、東京工業大学は入試段階で女性のみが出願できる「女子枠」を導入。また、大学では性別に限らず、障害の有無、国籍、年齢などに関係なく学べる環境を整えるダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン（DEI）推進にも力を入れています。

Keyword 2 デジタル・グリーン

デジタル人材の育成急務

業務のIT化やAIの活用が進む中、デジタル人材不足が深刻です。国は26年度末までには230万人のデジタル人材を確保するとして、大学や高等専門学校でデジタル分野の定員を

増やす方策をとっています。また、世界的な課題となっている環境分野、国の安全保障上重要な食料も成長分野として専門人材の育成が急がれています。

こうしたデジタル・グリーン分野で活躍する人材育成に対し、国は3000億円の基金を設け、理工農系学部の新設などを支援する「大学・高専機能強化支援事業（成長分野をけん引する大学・高専の機能強化に向けた基金）」を開始。23年には理工農系学部の新設などを計画する大学と高等専門学校111校が選ばれました。

国の後押しで新学部続々

「大学・高専機能強化支援事業」はデジタル・グリーンなどの特定成長分野への学部再編などを支援する「支援1」と、高度情報専門人材の育成に向けて大学院の体制強化を図る「支援2」があります。学部・学科の新設をする「支援1」の対象は、「データサイエンス」「AI」などのデジタル系学部・学科が約6割と最も多く、残りが「環境」「食料」「農業」などに関するグリーン系学部・学科です。

24年4月には高知工科大学がデータ&イノベーション学群、明治学院大学が情報数理学部、椋山女学園大学が情報社会学部などを開設しています。26年には甲南大学が環境・エネルギー工学科の新設を予定するなど、成長分野での新学部・学科が続々と誕生する予定です。

甲南大学が進める「進化型理系構想」とは

26年度に環境・エネルギー工学科を新設

(設置構想中)

GX分野で貢献できる人材育成を目指す

理学部から始まった甲南大学の理工学部が、社会のニーズに合わせてその姿を変えようとしています。新しい理工学部が目指すのは、基礎研究をしっかりと身に付けた上で脱炭素社会の実現に貢献する先端素材の開発研究にチャレンジできる人材の育成です。

理工学部は3学科から
4学科体制に改編

緑豊かな六甲山地を背に、眼下には大阪湾が広がる閑静な高級住宅地、神戸市東灘区岡本にある甲南大学。同大学の理系学部が今、2026年度に向けて「進化型理系構想」を始動させています。

理工学部は物理学科、機能分子化学科、生物学科の3学科が、26年度には環境・エネルギー工学科、宇宙理学・量子物理工学科、物質化学科、生物学科の4学科に改組します(設置構想中)。知能情報学部を含めた理系3学部と大学院の連携強化も計画。27年には岡本キャンパスに新たな理系校舎が竣工する予定です。さらに、フロンティアサイエンス学部にも研究開発リーダー養成プログラムを新設します。

理工学部の新学科、環境・エネルギー工学科の設立にかかわる町田信也教授(理工学部長)、山本雅博教授、木本篤志教授に、新学科での学修・研究内容や大学院との連携、受験生へのアドバイスなどを聞きました。

——環境・エネルギー工学科では、どのようなことを学べますか。

町田教授 私たちが準備を進めている環境・エネルギー工学科は、科学の力で脱炭素社会に貢献する力を身に付けることができる学科です。私は従来のリチウムイオン電池よりも

安全で高性能な全固体電池の材料の開発研究をしています。山本先生は材料を設計するための計算科学、量子化学が専門で、木本先生は有機太陽電池に精通しています。他に電気を使わず光触媒によって水から水素を発生させる研究などを行っています。

学生は物理や化学といった基礎学問をしっかりと学んでから、興味のある分野を選んで研究できるようになります。国は現在、デジタルトランスフォーメーション(DX)やグリーントランスフォーメーション(GX)の人材育成に力を入れる方針を出しています。私たちはGXの分野で活躍できる人材を育成・輩出し、社会に貢献したいと考えています。

山本教授 地球環境保全や脱炭素など、スローガンを掲げるだけでは課題解決にはつながりません。新学科では脱炭素社会の実現に必要な、エネルギー素材の開発研究に取り組むことができます。

3年次から研究室に入り、
研究の楽しさを知ってほしい

——学部だけでなく大学院も進化させると。

山本教授 大学院の自然科学研究科には26年度に環境・エネルギー工学専攻を新設し、28年度には知能情報学専攻を研究科として独立する計画です(設置構想中)。学部の各学科に大学院の研究科がそれぞれ紐づく組織に変わります。単なる組織改革ではなく、大事なのは大学院進学を検討する学生を増やすこと。近年、大学



甲南大学 町田 信也 教授



甲南大学 山本 雅博 教授

理工学部の進化型理系構想

現在



2026年度以降



2027年に 新理系校舎が竣工予定

2027年には、岡本キャンパスの西・北エリアに新理系校舎が竣工する予定。各校舎の中央にあるブロムナードなど理系の学生や教職員の学部・学科を超えた交流を促進する多彩な機能を備え、新たな価値を創出する場を目指す

院進学率も高くなってきており、さらに向上させる目標も掲げています。
木本教授 これまで多くの大学では学生は4年次から卒業研究をしていましたが、1年間だけでは研究の楽しさが分からないまま卒業してしまうこともあります。3年次から研究室に入ることができれば研究の楽しさを知り、大学院進学を考える学生も増えるのではないかと考えています。そのため、3年次からラボレーションを通して研究室を体験できるようにに加え、さらに優秀な成績



甲南大学 木本 篤志 教授

を修めている学生が希望する場合には大学院の「さきどり戦略」として、3年次のうちに研究室に配属し、大学院進学にエントリーできること、大学院の科目を4年次に履修できるようにすることを検討しています。
町田教授 就職活動が年々早まり、今は3年次から就活に入り、研究する前に就職先を決めてしまう傾向にあります。これでは大学院進学という選択肢を失っている状態。学生にはキャリアの選択の幅を広げてほしいと思っています。

「実験がうまい」甲南生 リケジョも3割に

——甲南大学の理系学生は企業からどのように評されていますか？

町田教授 明るく周囲とコミュニケーションを取れる、打たれ強い学生が多いという声を聞きます。

山本教授 企業ではありませんが、他大学から来た先生からは「甲南の学生は実験がうまい」と、よく言わ

れます。新入生アンケートの結果には「実験が不安」という声が散見されますが、学生は入学後にきちんとトレーニングして実験が上手になっています。

——最後に、どのような高校生に来てほしいと考えていますか。

町田教授 学問的な興味を持っていることはもちろんですが、明るく周囲とコミュニケーションを取れる人なら研究もうまく進めることができるでしょう。甲南大学は理系の女子学生が多く3割ぐらいいます。女子学生の少ない物理学科と知能情報学部では25年度年内入試から女子枠の導入を予定しており、新学科でも検討中です。

木本教授 「物理が苦手」、「化学が苦手」という理由ではなく、エネルギー分野で脱炭素社会の実現に貢献したいと、ポジティブに進路を選んでほしいです。例えば物理や化学が苦手でも、1年次に基礎から学べる科目も準備中なので安心してください。

注)本文中に記載の設置計画及び建築イメージは予定であり、内容が変更となる場合があります。



大学 DATA

甲南大学

アドミッションセンター

〒658-8501 兵庫県神戸市東灘区岡本8-9-1

TEL 078-435-2319 (直通) <https://www.konan-u.ac.jp/>

進め、限らない
可能性のために。

理工学部

2026年4月

学科新設・改組 予定
(設置構想中)

科学で持続可能な地球の未来を創る
誕生 環境・エネルギー工学科 入学定員 40名

「宇宙」「量子技術」を探究
Renewal 宇宙理学・量子物理工学科 入学定員 45名

物質化学で未来を拓く
Renewal 物質化学科 入学定員 45名

※記載の内容は現在計画中の内容であり、変更する場合があります。



理系の学生が学び・憩い・交流する拠点

2027年、 新理系棟 竣工予定

岡本キャンパス 西・北校地エリアが
サイエンスゾーンとして進化、
学部や学科の枠を超えて
互いを高め合えるステージに

【パースイメージ図】
構想中のため、今後情報が変更になる可能性があります。

 甲南大学

KONAN 進化型理系構想 特設サイト
(https://www.konan-u.ac.jp/evo/science_and_engineering/)



高校生向け理系探究サイト
(<https://www.konan-u.ac.jp/lp/konanscience/>)

